



主人公以外、ほぼ女性キャラなこの漫画ですが、手こずるのが私服のデザインです。雑誌を見たりネットで調べたりしながら、そのキャラが着そうな服を考え…  
外を歩いている時もつい女性の服装に目がいってしまいます。  
べ、別にいやらしい目では見てませんよ…!

高橋 脩 高橋 脩

cover design  
[r design studio]



Kodokawa Comics A



ISUCA  
[イスカ]  
高橋 脩  
3  
高橋 脩

3  
高橋 脩

KCA148-17  
角川書店



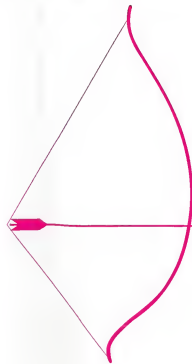
ISBN978-4-04-120502-0

C0979 ¥560E

定価：本体560円（税別）

〔発行〕 角川書店

真一郎に真名を知られてしまった朔邪は、その事実を隠すため真一郎を偽の婚約者に仕立て島津家に帰郷する。本家に戻った朔邪だったが「イスカ」と名乗る謎の少女から奇襲を受け、頭首である島津那巳が討たれ、須世璃と共に対峙するのだが!?  
島津家のお家騒動が勃発する、放課後学園退魔アクション第3巻。



ISUCA  
Takashi Takahashi Presents



# ISUCA

[イすか]

高橋 脩

3



# ISUCA

イズカ

高橋 脩

3



主人公以外、ほぼ女性キャラなこの漫画ですが、手こずるのが私服のデザインです。雑誌を見たりネットで調べたりしながら、そのキャラが着そうな服を考え…

外を歩いてる時もう女性のお服装に目がいってしまいます。

べ、別にいやらしい目では見てませんよ…!

**高橋 脩** (Takahashi Shu)

cover design  
[R design studio]



S U C A



Osamu Takahashi Presents



## 目次

第拾伍話	傀儡	003
第拾陸話	遭遇	023
第拾柒話	帰省①	051
第拾捌話	帰省②	083
第拾玖話	父①	115
第貳拾話	父②	131
第貳拾壹話	約束	157



# ISUCA

【イスカ】

高橋 脩

Illustration  
Presented

おしい朔邪  
皿並べるくらい  
手伝えって

…はい

分かりました  
そう伝えます

第拾伍話 傀儡

やーだ  
こないだウツパミ  
倒した時の疲れが  
取れてないのよ

もうあれから  
三日だぞ……

LO

浅野くん  
手伝うわよ

あ  
助かります

あたしも  
あたしも！

タマ子は  
邪魔だから  
大人しくして  
なさい！



ごちそうさま  
今日も美味し  
かったわよ

ありがとうございます  
ございます


ま……  
まあまあね



ところで……



ふたり  
二人はあれから  
キスとかは  
したの？



な……何  
言い出すのよ!?

先生……

前に言った  
でしょう？

浅野くんに真名を  
知られたことを  
本家に納得  
させるには

二人に恋人に  
なってもらいた  
くないって

そのうち練習  
するわよ

ふふ、振りでしょ  
言ってたのは

ところが  
そうも言って  
られないのよね

え？

Tallinn

さっき本家から  
連絡があったわ  
次の日曜に来る  
ようにって

こないだの  
ウワバミを倒した  
一件について  
聞きたいみたい



まあ、そうよね  
本来、次期当主の座を  
巡って争ってる二人が  
協力したわけだから

事情を聞いて  
どう処理するか  
決めようってことね



浅野くんも  
連れてくる  
ようにって

お館様が  
直々に話を  
聞きたいそうよ

電話とかでも  
……

それなら別に  
行かなくていい



朔邪……

練習

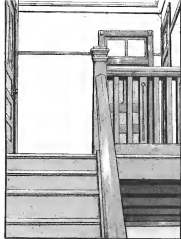


話したの!?  
真一郎のこと

もうとっくに  
知られてるわよ

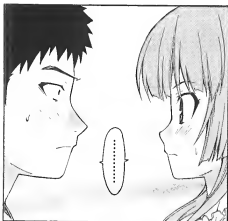
隠せてると  
思ったの?











タマ子…！

あ…いや  
ちよつとキスを  
する練習—

真一郎!!  
しんいちろう

あ……

キス？

あたしも  
する——っ!!!

シンイチロと  
キス？

え…いや

むがッ!?



あんたが  
そういう態度なら  
容赦しないわよ!

それはこっちの  
台詞だニヤ!

あ——もうっ

喧嘩は止める

二人とも

それと練習は

いったん中止!!

……まったく

だいたい恋人の  
振りとか

練習して  
出来るもんじゃ

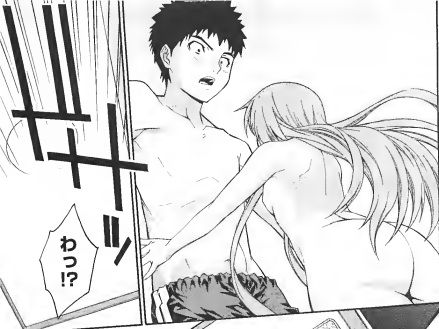
俺は別に  
振りじゃなくても

——って  
何言ってるんだ  
俺は!

!!!?

さ…朔邪  
……?





ちちよつと待てまち  
朔邪さくや

タンマ

い……いたい  
どうしちゃった  
んだ？

なんか様子ようすが  
変へんだ……

スリッ







うわあああ  
……っ!!

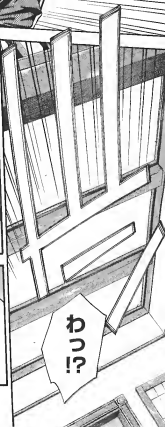


あたた……

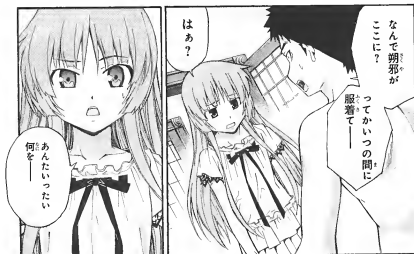
いったあ  
~~~~~

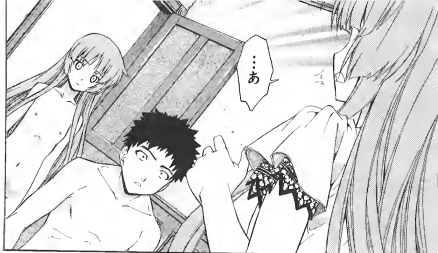


ごっごめん



わっ!?





やっぱり撫子の  
仕様ね



ふふ  
よく出来てる  
でしょ

練習にいいかと  
思ってる



いったい……？



前にゴーレムを  
使ったこと  
あるでしょ？

こういった人形を  
造って操るのが  
本職なのよ



撫子はね  
傀儡師なの



そうか：  
どうりで  
変だと――

ちなみに  
渡野くんの人形も  
製作中よ

いらないわよ!!



そんなのに  
頼らなくなつたって  
恋人の練習くらい  
出来るもん!

そう？  
ならいいんだけど

見てなさいよ  
吠え面かかせて  
やるんだから

あ 皆集まって  
なんか楽しいこと  
して――

ニヤツ!!?  
ペチャパイが  
二人!?

ホントに  
大丈夫かな  
……





あなたの…  
真の名……

さあ……

だんだん  
思い出してくる  
……



第拾陸話

遭遇



あの……

思い出した？

いや……  
さすがに無理  
じゃないかと……

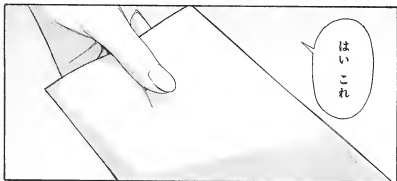
困ったわねえ  
明日はもう本家に行く  
約束の日だし

それまでに  
浅野くんの真名  
調べておきたいん  
だけど……

えつと他に  
いい方法は

いつまで  
付き合われるんだ  
これ……

真一郎





いーいーいー  
いーいーいー  
いーいーいー

頂きます!!

はは……  
ひょっとしたら  
忘れられてるのかと  
ちよっと心配してた  
からさ……

良かったあ  
やっこの日が  
来た

あ……

ト  
ト  
ト

あげる代わりに  
今日一日あたしに  
付き合いなさい

付き合うって  
……?

ほらさっさと  
支度して

中身減らすわよ

わ……分かったよ

それで  
行く場所は?

あんたは黙って  
付いてくれば  
いいの!

撫子

あそこ  
でしょ?

行っ  
て  
らっしやい



まったく……  
我が儘な奴……

なんか  
言った？

いや  
なんでも——



もう八年  
……か





















ふん……今日は一日  
付き合ってた言っ  
たから……

なによ  
へばったの？  
文句あるなら  
帰ったって  
いいわよ



な……なんだ  
山盛りか  
これ……



着いたわ



もう……  
だらしないわね  
あとちょっと  
だから

お……おう



いい景色  
だな

街が一掴みに  
出来そうだ

…お父さまと  
同じようなこと  
言うのね

!?

この景色  
お父さまが好き  
だったの

小さい頃  
何度か連れて来て  
もらった

…そうか

明日家に行ったら  
真一郎も嫌な思いを  
味わうかもしれない  
から

今のうちに  
説明しとく



あたしの父はね  
西洋魔術師  
だったの



島津の家<sup>しまづのいえ</sup>にね  
命所<sup>いのところ</sup>の人間<sup>にんげん</sup>が  
入<sup>はい</sup>ってくることで  
滅多<sup>めった</sup>にないのよ

霊力<sup>れいりき</sup>の強<sup>つよ</sup>きや質<sup>しつ</sup>は  
ほとんとは遺傳<sup>いでん</sup>で  
決まるから



まあ稀<sup>まれ</sup>に  
あんたみたいなの  
例外<sup>れいがい</sup>がいるけど



受け継がれた力を  
さらに高めるため  
一族の中で婚姻を  
くり返して

そんな家が  
西洋魔術師を  
迎え入れるっていうのが  
どれだけ異例だったか

想像つく？

たぶん

何となく……

お祖母さまが  
認めたことだから  
皆表向きは  
黙ってたけど

陰ではひどい事  
言ってた

そうして  
日本でも屈指の  
霊能者の一族として  
何百年も君臨  
してきた

ううん

お父さまと  
お母さまが  
いなくなった  
今でも



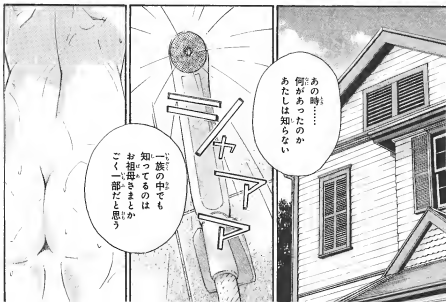
いなく...？

うん



八年前の  
妖魔との戦い  
でね……

帰って  
来なかったの



あの時……  
何があったのか  
あたしは知らない

一族の中でも  
知ってるのは  
お祖母さまとか  
ごく一部だと思う





撫子もあの時  
戦いの場にいた筈だけど  
教えてはくれない



まああの半分は  
今まであたしを  
見下してきた  
家の連中に復讐  
するためだけに

高野の



だったらあたし自身が  
真実を知れる立場に  
なるしかないって

当主になろうって  
決めたのも  
半分はそれが理由



でもなんで  
わざわざこんな所  
まで？

それは  
だって……



なんか今日は  
朔邪のこと  
いろいろ分かった  
気がする

今までそういう話  
聞いたこと  
なかったもんな



嘘とはいえ  
あんたを婚約者として  
家に紹介しないと  
いけないし

その前にお父さまに  
報告しとこうと  
思ってた……



だいたいあんたが  
今まで何も訊こうと  
しなかったんじゃない

その気になれば  
いくらでもあたしに  
命令出来るのに



もう……  
なに言わせる  
のよ！



そうか……

ここは朔邪にとつて  
父親との思い出の  
場所なんだな



くすくす

怒<sup>おど</sup>りっばい  
お姫<sup>ひめ</sup>様<sup>さま</sup>ね

!!?

elsin

真<sup>ま</sup>眼<sup>がん</sup>

すべてを従<sup>したが</sup>える力<sup>ちから</sup>を  
持<sup>も</sup>っていな<sup>が</sup>ら  
なんであんな小娘<sup>こむすめ</sup>に  
仕<sup>し</sup>えるのか理<sup>こと</sup>解<sup>わけ</sup>に  
苦<sup>くる</sup>しむわ

だ誰…？

真眼を知ってるって  
霊能者か…？

さつきは  
苦労したわ

目の前に島津の娘が  
いると思うだけで

ハッ裂きに  
したくてしたくて

全身の血が  
煮えたぎって  
くるのよ

分かる？  
この感覚

まさか…

朔邪の敵  
………？

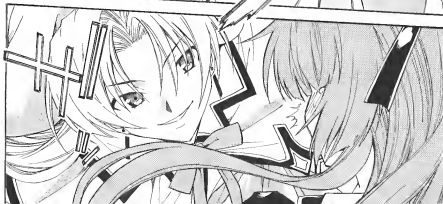
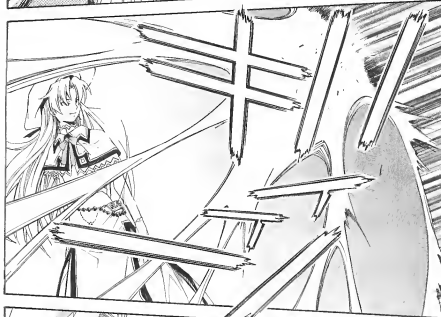
安心して  
今はまだ何も  
しないわ

今日の目的  
は——

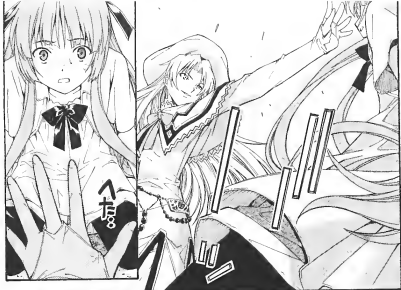






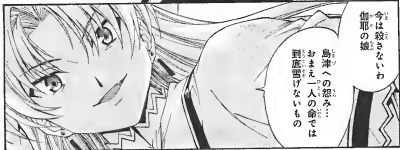






今は殺さないわ  
僧耶の娘

島津への怨み……  
おまえ一人の命では  
到底雪げないもの



くすくす

それじゃあね



お……おまえは  
一体……

おまえ？

そうね

あたしのことは  
こう呼びなさい





イ・ス・カ・

午後には  
到着するかと

—で  
二人はいつ  
来るんだ？



そうか…撫子  
そなたから見て  
どんな人物なのだ？  
その少年は



…ふむ

そうか  
そうか



それは…  
私の主観に  
なりますが

構わぬ  
そなたの眼は  
信用出来る



そう…ですね  
少し不器用ですが

信頼は  
出来るかと

お館様……  
楽しそうですね

それはそうだが

なにせ外の人間に  
会うのは久方振り  
だからのう

## 第拾漆話 帰省①

鎌倉駅

真一郎  
念を押してくけど  
昨日の事は誰にも  
言っちゃ駄目よ

せめてあいつの  
正体が分かる  
までは

でもおまえ一人で  
相手するのは  
危険なんじゃ……

あの感じだと  
またすぐ現れ  
そうだし――

ちょっと！  
まさかあたしが  
やられるとでも  
思ってるの!?

だって昨日

あ…あれは

弓さへあれば  
あんな奴……

イスカ…か

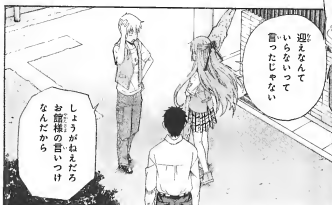
島津家に怒みが  
あるみたい  
だったな…

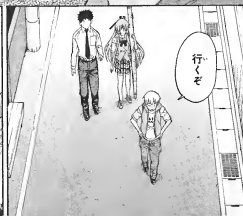
あいつを  
その名前で  
呼ぶな!!

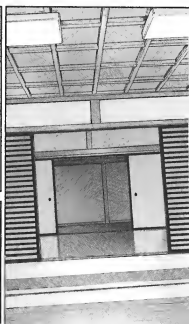
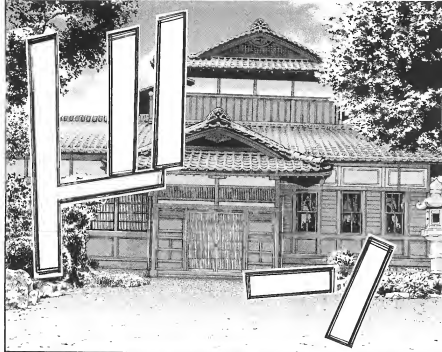
イスカ……  
朝邪の真名と  
同じ名前

偶然の一致とも  
思えないけど  
……

わ…悪い



















それがね  
ぜんぜん芽えない  
感じの男

ほんと？

朔邪様もあんなのと  
結婚の約束するとか  
何が気に入ったん  
だか



ひょっとして  
気に入ったのは  
顔じゃなくて  
あっちの方だったり

やめなさいよ  
一応次の当主様にな  
るかもしれない方を  
盛りのついた猫  
みたいに

もう無理でしょ  
須世璃様で  
決まりじゃない？

まあねえ  
私もあんな  
性格の悪い女に  
仕えたくないし



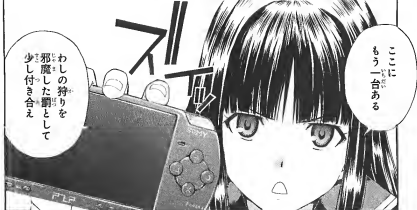
……はあ



明日は真一郎も  
嫌な思いを  
味わうかもしれない











バカ！  
正面に立つな  
フレスガ来る

え…あ



何やつとる  
こつちだ！

は…はい



あ—っ!?

下手くそ

これで三度目  
だぞ



その心意気は  
褒めてやる

ふん…だが  
わしの体力を  
回復させようとして  
反応が遅れたの  
だろう？



すいません  
……

このゲームはの  
一緒にプレイしている  
相手がどんな人間か  
分かるのが面白い  
ところでの

カチ

カチ

は…はあ

特に窮地に  
陥った時

破れかぶれで  
敵に立ち向かう者

自分が助かる  
ことだけを  
考える者

どうしていいか  
分からず  
うろたえる者

隠そうとしても  
隠しきれぬ  
その人間の本性が  
うっすらと見えて  
くるのだよ

そうなん  
ですか…

なんか  
怖いな





ふふ……



すみません  
失礼します……!

トイレなら  
その角だぞ



まったく……  
あたし一人で  
気まずいったら  
なかったわよ

悪い……ちょっと  
いろいろあつて

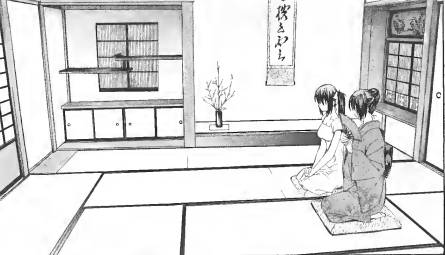


?



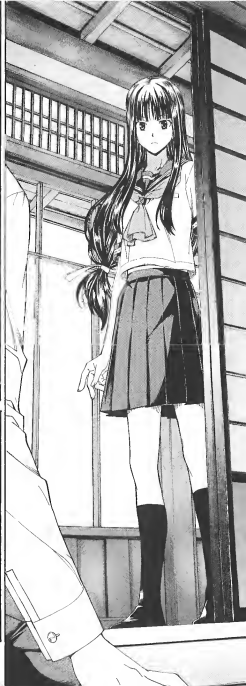
遅い……!!

なんでトイレ  
行くだけで  
一時間も  
かかてるのよ!?















浅野殿と  
少し二人で  
話がしたい

しかし母上

このような  
素性の知れぬ  
者と――

沙霧

いつおまえに  
意見を求めた？

沙霧おまえは  
下がっている

朔邪と須世璃は  
撫子と共に  
ここで待つように

さ 浅野殿は  
こちらに

す……  
すみません

はい



さて……と

結婚の約束など  
嘘であろう？

朔邪はそなたの  
真名を知らぬ

おおかた朔邪が  
そなたに真名を  
知られてしまったのを  
取り繕うための方便

そそれは

しかもそれには  
須世瑠も  
絡んでおる

ここからは  
二人きりだ

お互い包み隠さず  
話すとしようぞ

え……





まあ須世璃が  
なぜそのような事を  
したかもおおよその  
想像はつく

くく……  
わしの腹が屈かぬと  
思っただけ勝手  
しおって

いや……あの  
いろいろと  
事情が――



朔邪はの  
この家にいた頃は  
ひどく荒れていての

この家の誰にも  
心を許さず

いつも一人で  
孤立しておった

だから朔邪が  
横浜の別邸で  
一人暮らしをしたいと  
言った時も

このままで  
いるよりはと  
認めることにした

撫子のいる  
高校に通うことを  
条件にの



さっきのプレイを見て  
そなたの為人は  
だいたい把握出来た

うむ  
うむ

そなたは  
バカじゃな

ば……

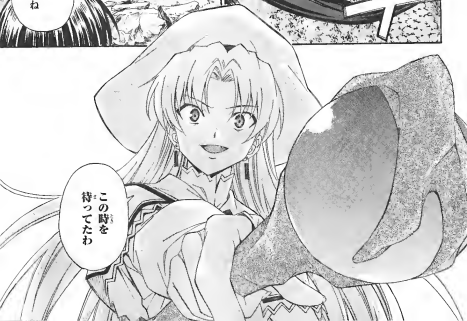
何度攻撃を  
喰らおうとも  
わしを助けよう  
として

自分の技量を  
わきまえず  
まったく馬鹿丸出し  
だったが

信頼は出来る













あはははっ

ざまあみろ  
しまっ  
島津那巳!!

この屋敷に  
張り巡らされた  
忌々しい結界

その中に  
閉じ籠った貴様に  
どうやって近付くかが  
問題だった

でも結界ってのは  
家外内側からの  
攻撃には脆いもの  
なのよね

だから真眼に  
種を仕込んだの

いずれおまえが  
ここに来た時に

おまえの無尽蔵の  
精気を吸って発動する  
時限式の……ね

まさかこんなすぐに  
機会が訪れるなんて  
僥倖だったわ

くすくす

ほんと  
いいザマね

!?

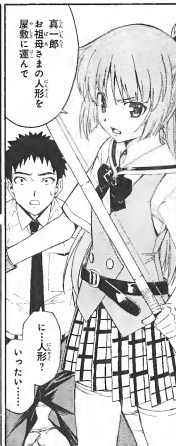
違う……!

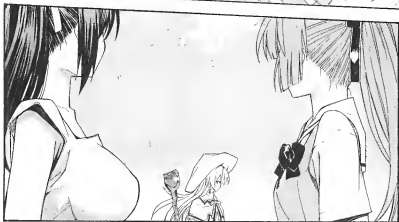
只の人形  
……!?

真一郎  
しんいちろう

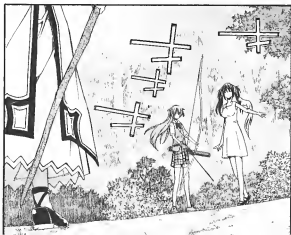
お祖母さま！  
おばあさま！













君に出来ること  
なんて何もない

真眼の力が  
あるからって  
その子にキスして  
支配するの？

近づく前に  
殺されるわよ

そ...それでも

それでも  
俺は――

あいつの.....

力になりたい.....

!!

ふふ、そこまで  
邪（よこしま）なこと  
思（おも）ってくれるなんて

君（きみ）を引（ひ）き合（あ）わせて  
正（ただ）解（かい）だったわ

そう、最初（さいしょ）は  
先生（せんせい）に紹（しょう）介（かい）され  
た  
バ（バ）イ（イト）だった

それが  
こ（こ）ん（な）こ（と）に  
巻（ま）き込（こ）まれ

最初（さいしょ）は絶対（ぜったい）  
辞（し）め（て）や（る）っ（て）  
思（おも）っ（て）た（け）ど

そろそろ  
本（ほん）当（とう）にこれ（こ）を  
託（たく）して（も）良（よ）い  
頃（ころ）かもね

でも今（いま）は



お館様  
すぐに準備  
いたします



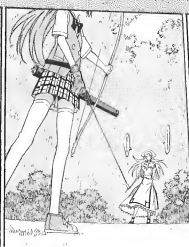
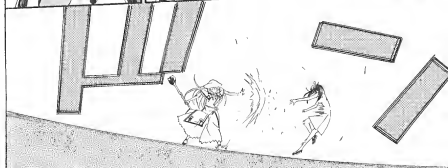
あ……っ

くすくす

ふたり  
がかりで  
それなの？

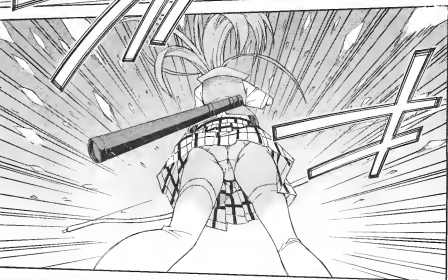








おそ  
遅い!!



終わ  
りよ



あ…っ



!?





お…俺だっ  
ておまえの  
力になら  
ないんだよ…



バ…バカ！  
あんたなんかの  
出る幕じゃ  
ないわよ！

大人しく  
すっこんでなさい！！

そういうおまえで  
ポロボロじゃ  
ないか！



え……

ハァ



夜叉王…

前に朔邪を操って  
俺を襲ったこと  
あっただろ？

あの時みたいに



……真眼  
その刀をあたしに  
向けるの？

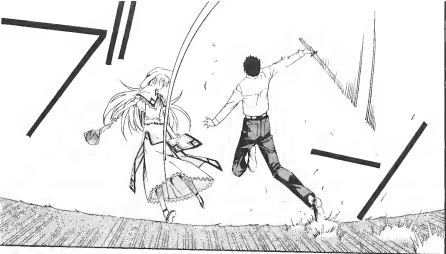
あたしの玩具に  
してあげようと  
思ったのに

しょうち  
承知

!!!?

わ…  
わわっ!?

しんいちろう  
真一郎!!



すごい...

真一郎さま  
いつの間にか...



や…やめろ

と  
止まれ

っ  
!!!

見た目が  
人間だけで  
斬れないなんて  
甘いわ

ぐは…ッ

おまえのことは  
傷つけるなって  
言われてたけど

もういいわ

こわ  
壊れちゃえ







あ…

ああ

あ

あ……ッ



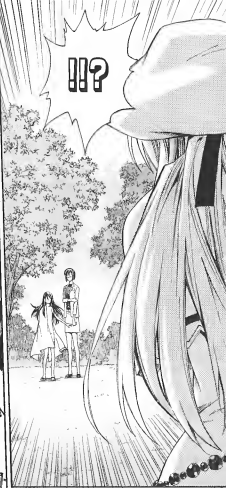
くそ……  
この身体め

まだここから  
なの……



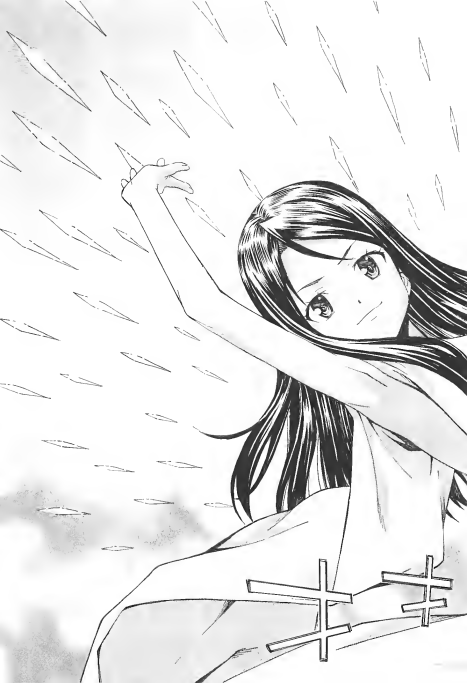
お…俺は  
やってないぞ…

ふん  
八年前の  
出来損ないが



灯籠  
ひ  
おぼろ

島津流  
弓靈術





島津…那日



すごい  
お祖母さま…

あたしなんて  
五・六本が  
やっとなのに…

え…何？

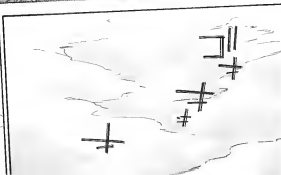
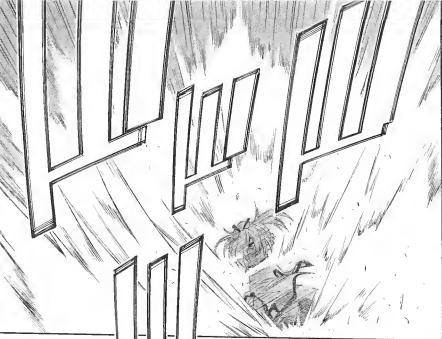
どういうこと  
………



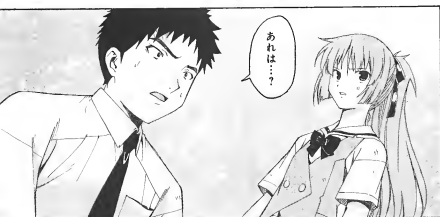
撫子  
腕を上げたな

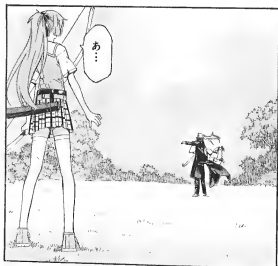
以前の身体より  
だいぶ具合が  
いい

お館様が  
10歳の頃の写真を  
元に作りました

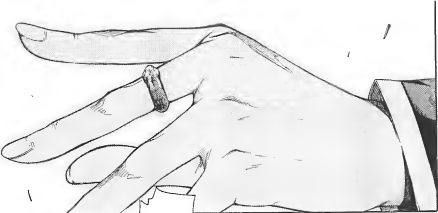














お父……さま？

第拾捌話  
—了—





じゃあここが  
あんたの寝る  
部屋だから

けつきよく  
泊まることに  
なっちゃったな



タマ子の晩飯  
用意してこなかったけど  
大丈夫かな……

ごめん……  
お祖母さまが  
どうしても泊まって  
いけつて言うから……

べ…別に甥が  
帰ることないだろ

まさかあんな事が  
起きるなんて  
分かるわけないし



八年前の  
出来損ないが



ざまあみろ  
島津那巳!!



お父…さま?



分からないこと  
ばかりだ  
あのイスカって子は  
何者なんだ?

あの仮面の男が  
翔邪の父親?  
ならなんで









え……？

お館様おやかたが二人を  
お呼びよ  
すぐ来るようにって



ち……違ちがうの！  
変へんな勘違かんちがい  
しないでよ

真一郎まいちろうに  
訊ききたいことが  
あっただけで



それは……ね



うふふ

こんな時間ときに？  
いったいどこへ  
……







お…お相母さま  
なんでこんなところ  
……

しかも真一郎  
まで――

おお  
来たか



遠慮する  
ことはないぞ

昼間の疲れを  
取ってもらおうと  
思ってた



真一郎だって  
いるのに……



ほれいつまで  
その邪魔な布を  
巻いとる

早く取れ

でも

二人は結婚の約束をしとるのだろうか？何を恥ずかしがる必要がある

それともあれか？

結婚するまでは清い交際を……とでも決めておるのか？

はい！  
実は――

なら許す

わしはその少年が気に入ったでな好きにしてよいぞ

え……

でも……  
さすがにそれは

懐かしいのう  
わしも亡くなった夫とは結婚前から周りの目を盗んでは会っていたものよ

さあ  
そんなわけで  
わしが良いと  
言つとるのだ

早よ来い

う……

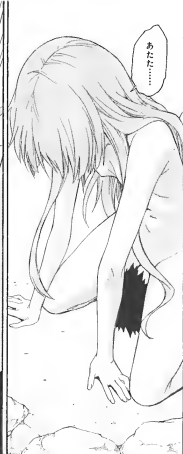


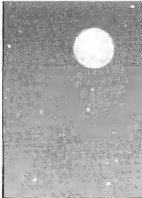
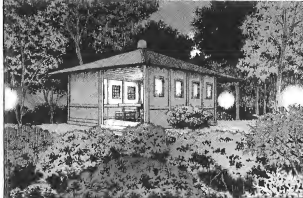


いえ…  
私は別に  
真一郎さまこそ  
大丈夫ですか？







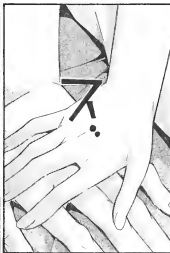






今後も朔邪と  
共におるつもり  
なら…の

今回のこと  
少年には話して  
おいたほうが  
いいかと思っ



真一郎…



教えてください

…お願いします

今回襲って来た  
連中の背後に  
いるのは――

朝比奈家

朝比奈……

東京に居を構える  
西洋魔術師の一族

島津の長年の  
仇敵だった連中よ

そして――

朔邪の父  
時春はこの家の  
出身だ

第拾玖話 一了一

ここは――

ゴ  
ホ

……ああ  
そうか

またあの檻おろの  
中……

目が覚めたか

イルダーナ  
ここから出して

ここは  
嫌い……





眠るのも嫌

またあの夢  
が……



身体が修復  
するまでの我慢だ

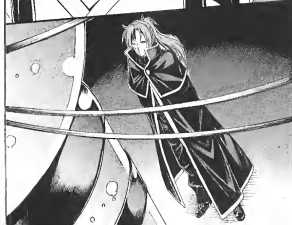
もう少し  
眠りなさい



——  
あいつに



眠る度にあたしは  
殺される



島津  
……  
那巳

加耶……





それじゃ朔邪の  
親父さんが敵だつて  
いうんですか？



そもそも彼奴は  
八年前から  
行方知れず

生きてるのかも  
分かん

知らん  
……て



知らん

だが今回の件が  
朝比奈の連中が  
仕掛けたものなのは  
間違いない

あのホームクルスは  
朝比奈の所有物  
だからの

ホーム…？

錬金術で  
生み出した  
人工生命体よ

そうか…

やっぱり人間じゃ  
なかったんだ



そして  
最後に出てきた  
仮面の男……

背格好は時春に  
似ていたようだが

どう思う？  
朔邪



それは……

分からない  
……です

キエ

お父さまとは  
小さい頃に別れた  
きりだから……



ははっ

小さいのは  
今も変わらず  
だかの

卍

とにかく  
調べる必要が  
あるの

朝比奈の連中の思惑  
仮面の男が  
時春か否か

ニヤ

まあどちらにせよ  
これだけの事を  
してかした以上  
ただで済みます  
つもりは無いが

少年

はいっ

Valuz

よく覚えて  
おくがいい

朔邪と共に  
いる限り

このような争い事からも  
無縁ではられないと  
いうことをな

どうだ？  
それでも朔邪と  
共にいられるか？

Vaduz

はい…

でも真眼のこと  
あつちに知られてる  
みたいだし

どっちにしろ  
もう――

…ふむ

ではお主に  
考える機会を  
やろう

Vadu

もしお主が 今後  
我等と関わりを持たず  
以前の生活に戻りたいと  
いうなら

交渉してやろう  
朝比奈とも  
他の霊能者とも

今後お主には  
一切の干渉をしない  
ように…とな

なにこのわし自ら  
出向くとすれば  
朝比奈の連中とて  
話を聞かざるを得まい

ただその時は  
お主も今後  
朔邪との接触は  
禁ずることになるが

お祖母さま!!

姉さま

須世璃…



よく考えるが  
いい



そう  
言われても

俺の中では  
答えは決まっ  
てるんだよな...



…しかし  
広い庭だな

道が分からなく  
なる前に戻った  
ほうがいいかな  
.....



弓道場?

こんな時間に  
誰が……

朔邪……

お  
い  
朔  
邪

……それで  
何してたのよ？

こ……  
殺す気が！？

手が滑ったの!!

弓構えてる時に  
声かけるんじゃ  
ないわよ！

こんな  
時間に



まああたしも  
一緒ね

なんか寝れなくて  
頭の中をスツキリ  
させたくて――

そっか……

じ……

？

あ悪い

それなら一度  
外に出てくるから

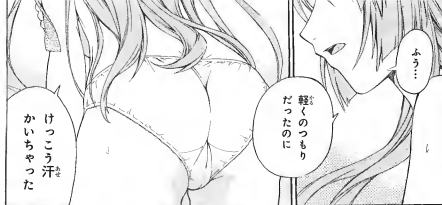
ここ更衣室とか  
無いから

着替えるから  
あっち向いてて

いい



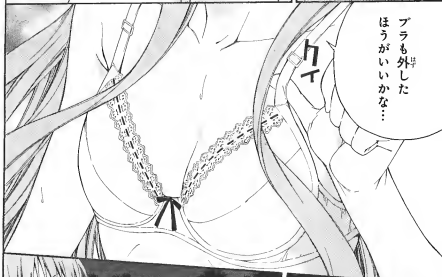




ふう…

軽<sup>かろ</sup>くのもり  
だったのに

けっこう汗<sup>あせ</sup>  
かいちやった



ブラも外<sup>はず</sup>した  
ほうがいいかな…

ハイ



そ…それで  
話<sup>わ</sup>って……？

うん…さっきの  
お祖母<sup>おばあ</sup>さまの話<sup>はなし</sup>

どうするか  
かんが  
考えた…?

あああ  
それなら

あたしはさ

それでも  
いいのかな…て

!!!?

こっち  
向くなつて  
言ったでしょ

すみません  
……

みい



最初はさ  
もっと軽く  
考えてたのよ

妖魔を封印するのに  
あんたの力があつたら  
便利だって

でも朝比奈家との  
抗争なんて始まつたら  
これ以上付き合えとは  
言えないっていうか……

……

なんだかんだ  
言つてもあんたは  
部外者なんだし

そんなこと  
ないだろ!!

俺は朔邪の  
真名を知って  
真主つてのに  
なったんだから

無関係なこと  
あるか!

真一郎……

それにまだ  
一回しか給料  
貰ってないのに

そう簡単に  
首にされて  
たまるか

vaduz

Vaduz

それに朔邪こそ  
どうなんだよ

どう…って？

あの仮面の  
男……

本当に朔邪の  
親父さんなのか？

それは――

分かんないって  
言ったでしょ！

お父さまとは  
小さい頃に別れた  
きりなんだから

本当か？

え……



本当は自分の  
親父さんだっ  
て思ってるんじ  
やないのか？



…指輪



《円環蛇》を  
象ったあの指輪

お父さまと  
同じだった……

それって前に  
朔邪とキスした  
時に見た――

指輪……

朔邪

もし本当に  
あの男が朔邪の  
親父さんだと  
したらさ

操られて……？

うん

そもそも朔邪に  
イスカのヌイグルミを  
渡したあのひと  
同一人物なら

操られてるって  
ことはないの  
かな……？



自分<sup>じぶん</sup>から邪<sup>よこしま</sup>の敵<sup>てき</sup>に  
なるようなこと  
する筈<sup>はず</sup>がない…!!

ほら真名<sup>まな</sup>だよ

誰<sup>だれ</sup>かに真名<sup>まな</sup>を  
知られて無理矢理<sup>むりやり</sup>  
協力<sup>きょうりき</sup>させられて  
とか

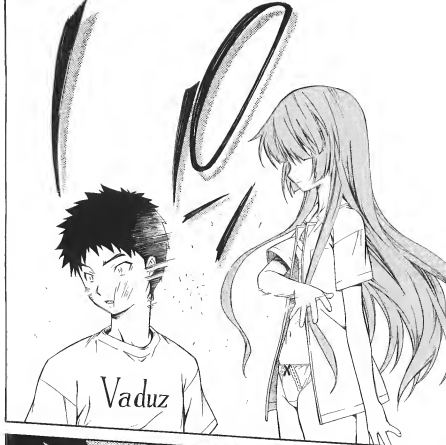
だとしたら  
その操<sup>さく</sup>ってる奴<sup>やつ</sup>  
さえ分かれば

俺<sup>おれ</sup>がそいつの  
真名<sup>まな</sup>を――

…真一郎<sup>しんいちろう</sup>

あ……  
着替<sup>きが</sup>え終<sup>お</sup>わった  
のか？

ア……



え……

なんて事を  
言うのよ……

お父さまのことも

お母さまのことも  
知らないくせに

朔邪

なんで……？





いつたい……

どうしたん  
だよ……

なんて事を  
言うのよ……

お父さまの事も  
お母さまの事も  
知らないくせに



朔邪……

ただいま――

シンイチロ

おかえり

――  
!!

ねね  
シンイチロ

あたし今日は  
ずっと家で  
おとなしく  
してたよ

はあ……

褒めて  
褒めて

スタスタ

うう……

シンイチロが  
冷たい……

ふう……

とりあえず  
明るいうちに  
洗濯しとくか

ACOSI

井

え……？

あ…

これは――

COS









…はあ

朔邪のやつ  
思いつきり  
叩きやがって  
……

昨日の  
あの一件



あれから朔邪とは  
一言も口をきいて  
いない——



あ…もう  
いいのか？

今日のおかず  
おまえの好きなのに  
したんだけど――

スサ  
スサ

…朝から  
そんな調子ね

喧嘩でも  
したの？

それは――



そして朔邪の両親  
時春様と伽耶様は  
互いが互いの真主と  
なっていた

どういう事か  
分かる？

それは――

つまりね  
浅野くんが言うように  
仮面の男が時春様で

それが真主に  
命じられて  
敵対してるのだとしたら  
可能性は二つ

それを命じてる  
真主は伽耶様

もしくは伽耶様は  
既に亡くなられていて  
別の何者かが時春様の  
真主となっている

NICOSIA



……ま  
どちらも朔邪には  
受け入れられる  
考えじゃないわね



俺はそんな  
つもりは――

そうね

浅野くんが  
そこまで考えて  
言っただんじゃないのは  
分かってる

朔邪だって  
すぐに気付いた  
はずよ



でもあの子も  
意地っ張り  
だから

自分からは  
仲直り出来ない  
のね

きっと

……確かに

NICOSIA

ま、こういう時は  
男の子の方から  
手を差し伸べて  
あげるのが  
いいんじゃない？

それとコーヒー  
ご馳走さま

モカもいいけど  
個人的にはコナの方が  
好きかな

今度買って  
おきます

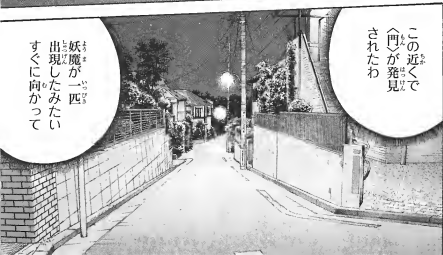
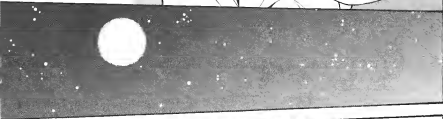


はい

俺の方から  
……か

でもどうしたら











朔邪…!?





朔邪にはあれが  
両親に見えてる  
のか……？



お父さま

お母さま……？

待った!!

迂闊に近付かない  
方が――

フワッ

どうして…

あ……

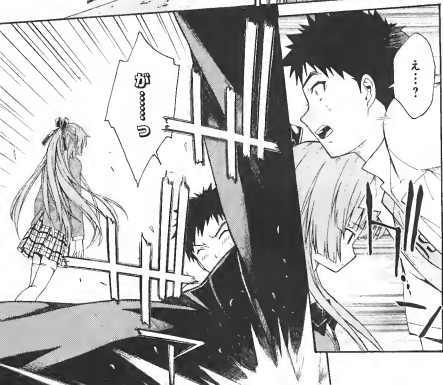
なんだ…  
頭が――

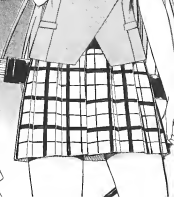
クラッ

く…っ

これもあいつの  
仕業か

おまえ…一体  
どんな術を







…あ

もしもし  
先生！

実は—

…なるほどね  
恐らくそれは  
雲外鏡ね

それは…？

鏡の性質を  
持った妖魔よ

下手に近付くと  
攻撃を跳ね返すから  
気を付けて

…もう  
やられました

そいつはね  
相手が最も親しく  
思う者の姿を  
映し出すのよ

そして霧には  
正常な判断力を  
失わせる力がある

それで油断して  
近付いてきたところで  
精気を奪うってわけ

なんにせよ  
浅野<sup>あさの</sup>さんの能力<sup>のうりょく</sup>が  
あれば十分<sup>じゅうぶん</sup>対処<sup>たいしょ</sup>  
出来るはずよ

あとは冷静<sup>れいせい</sup>に

朔邪<sup>さくへ</sup>!!?

やつと……また  
一緒に――

ずっと……

ずっと待<sup>まち</sup>ってたんだから



何<sup>なん</sup>すんのよ  
……!?

待<sup>まち</sup>て  
落<sup>お</sup>ち着<sup>き</sup>けつて



朔<sup>さく</sup>邪<sup>や</sup>!!



うっさい  
バカ!!

放<sup>はな</sup>して!





…そっか

そうだよな

ごめん…



朝那がこんな  
簡単に術に  
かかるなんて…

やっぱりそれだけ  
両親の事が



はは…

まさかあなたに  
助けられるなんて

キッ

ち……ちよつと  
しんいちろう  
真一郎！

朔邪<sup>さくや</sup>  
おれも手伝う

え……

俺<sup>おれ</sup>は朔邪<sup>さくや</sup>を  
手助けするために  
来たんだから

だから――



しんか  
せいめい  
神火清明

しんすい  
せいめい  
神水清明

しんぷう  
せいめい  
神風清明

なんじ  
まな  
汝が真名は  
こうすいせん  
紅水仙





真主として  
命じる

封印の眠りに  
つけ



今日はあんたに  
格好悪いところ  
見られちゃった

いやそんな

まあお礼は  
言っとくけど



こういう時は  
男の子の方から

朔邪  
昨日はごめん

ちよっと…  
どうしたのよ  
急に――

俺…そうとも知らず  
朔邪を傷つける  
ような事――

な…何よ  
それ

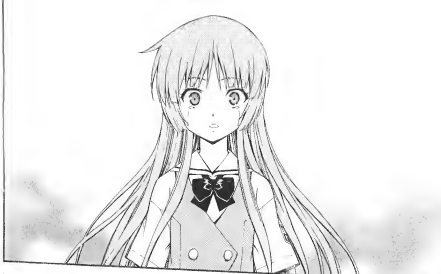
あたしがお父さまや  
お母さまの事で  
シヨックを受けた  
とでも？

だって昨日

さっきだって

あ…あれは  
妖魔の術の  
せいよ

あたしはそんな  
弱く――





……真一郎  
約束だからね

一緒に捜してくる……って

ああ

あ……それと  
さっきのだけど

分かってる

泣いたのは  
二人だけの  
秘密な

COSIA

あ痛て  
叩くなつて

もう……  
言わないでよ  
バカ!

The author

高橋脩

Assistant

Miki

一日一鍋

梶山昊頌

and many others

Design

R design studio

## おまけのページ

ということでは  
ISUCA 3巻です。  
お買い上げありがとうございます。

前回おたのしみ間が空いて  
しまいました。…スイマセン

毎度、きょう紹介ですわ  
1人目はイスカです。  
名前からして分かるとおり、  
今後重要な役割を担うこと  
になりました。

オムンクスということでは、  
全体的に黒い付いてない  
白、黒いイメージ。あと帽子を  
袖、手帳を描写した、巨漢魔術士  
像に、魔法杖、黒い魔杖で..  
といったイメージでデザインしました。  
黒面が白、黒い魔杖がないよう  
見つけました(笑)

今巻の顔見せと、たいてい、  
目的などからすると不明なところ  
多いですが、一緒にいる黒面男、  
王付(1) ちびも含めて、  
おいおい明らかになっていく予定です。





2人目の島津那巴です。

島津家の前当主。

朝那と娘世南の祖母です。

かつて病と倒れ、身体が自由が  
まかりなり、下のため、当主の座を  
朝那の母、如耶と奪った。自分は  
自分の若く更なる幸と作られた人形と操縦を  
憑依した。

その後、何処が行方不明となり、  
現在、安良の当主の目を探して  
います。

大のゲーム好きで、周りの人達に  
相手をしたことも多く、そのため  
携帯ゲーム機はいつも2台持ち  
歩いていました。

団めに、いつも着ていたセーラー服の  
元は、娘のふたかりに、たもの。  
それか、いたく気に入り、以後、  
日常的に着るようになった。  
日く「気持ちが悪くない、もうです(笑)」

そんなことが重なることで、その力は  
凄まじく、日付回内でも、3本の指に  
入る程、今は人形に憑依している  
ため、本来の力は出せないが、  
それでも、彼女に敵う悪魔者の  
団内、数人程はいないでしょう。

……といたところで、続きは  
また次巻にて、お楽しみにしてください。

高橋 脩



**Kadokawa Comics A**

角川コミックス・エース

イ ス カ  
**ISUCA**③

著者  
たか はし おさむ  
**高橋 脩**

2012年11月26日初版発行

発行者  
**新名 新**

発行 株式会社**角川書店**

〒102-8078 東京都千代田区富士見2-13-3 電話／(03)3238-8541(編集)

発売 株式会社**角川グループパブリッシング**

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話／(03)3238-8521(営業)

<http://www.kadokawa.co.jp>

装幀・デザイン  
**R design studio**

印刷  
**共同印刷株式会社**

製本  
**共同印刷株式会社**

初出／「ヤングエース」'11年4月号、7月号、9月号、10月号、12月号  
'12年5月号、7月号



本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配付は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

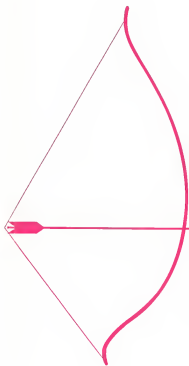
2012 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©Osamu TAKAHASHI 2012  
ISBN978-4-04-120502-0 C0979



U S U C A

Osaka University Presents



Ozamu Takahashi Presents

I S U C A





9784041205020

ISBN978-4-04-120502-0

C0979 ¥560E



1920979005600

定価：本体560円（税別）

〔発行〕 角川書店

真一郎に真名を知られてしまった朔邪は、その事実を隠すため真一郎を偽の婚約者に仕立て島津家に帰郷する。本家に戻った朔邪だったが「イスカ」と名乗る謎の少女から奇襲を受け、頭首である島津那巳が討たれ、須世璃と共に対峙するのだが！？

島津家のお家騒動が勃発する、放課後学園退魔アクション第3巻。

